

令和7（2025）年度

ひたちの国際交流

— 日立市の国際交流事業のあらまし —



日立市

目 次

はじめに	1
1 市内で実施されている国際交流事業	
(1) 日立市の取組	2
(2) 小・中学校の取組（私立中学校を含む。）	4
(3) 高等学校・大学の取組	7
(4) 国際交流活動団体の取組	11
(5) その他市内団体の取組	20
2 国際親善姉妹都市のあらまし	
(1) バーミングハム市（アメリカ合衆国アラバマ州）	24
(2) タウランガ市（ニュージーランド　ベイ・オブ・プレンティ地方）	25
(3) 姉妹都市データ（日立市との比較）	26
【参考】 姉妹都市とは？	27
3 国際交流よくある質問 F A Q	29
4 参考資料	
(1) 日立市内の外国人市民数	32
(2) 茨城県内の外国人市民数	34
(3) 茨城県及び県内市町村の姉妹都市提携状況	35
(4) 日立市の国際交流のあゆみ（年表）	36

はじめに

このハンドブックは、令和7（2025）年度の日立市及び市内の関係団体などの国際交流活動の紹介、そして国際親善姉妹都市に関する情報などをまとめたものです。

日本に暮らす外国人が約396万人となり過去最多を更新する中、日立市をはじめ茨城県内に住む外国人の方々も年々増加し、現在では、約10万6千人と全国で10番目の多さになっております。

こうした中、令和7（2025）年は、外国人労働者制度の改正が行われるなど、外国人を取り巻く環境が大きな転換点を迎えており、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化の違いを認め合い、対等な関係を築きながら、共に支え合うことのできる「多文化共生社会」の推進が強く求められております。

このような状況の中、日立市では、外国人市民に向け、生活に身近な市の施設を見学する生活研修会を始め、災害時の支援体制の構築の推進として、市が設置する各避難所へ多言語指差しボードの配備、外国人に日本語を教えるボランティア講師や、外国人のコミュニケーション支援を行う通訳ボランティア養成講座の開催など外国人市民の皆様が安全・安心に生活できる環境整備の強化に取り組みました。

姉妹都市交流においては、タウランガ市と青少年の相互往来が行われ、将来を担う若い世代の交流が活発に行われました。また、バーミングハム市からも市民訪問団を迎え、両姉妹都市との交流が盛んとなり、今後も相互理解と友好関係がさらに深まることが期待される一年となりました。

今後も国際交流団体等と連携しながら多岐にわたる交流の機会を提供し、本市の国際化及び多文化共生の推進を図ってまいります。

このハンドブックが、市内の国際交流事業を理解する一助となり、私たち一人ひとりが「多文化共生」時代に生きている市民としての意識が深まることを期待しております。

本ハンドブックの作成にあたり、御協力いただきました皆様方に厚くお礼を申し上げます。

令和8年4月
日立市市民生活環境部文化・国際課

1 市内で実施されている国際交流事業

(1) 日立市の取組

令和8（2026）年3月31日現在

◆文化・国際課（国際交流推進主管課）

日立国際交流協議会の事務局として、国際交流事業を実施した。
実施事業詳細については、11 ページを参照

◆指導課

ア 外国語指導助手配置事業

* 通年／市任用ALT 1人（国際親善姉妹都市からの採用）、民間ALT 26人

児童・生徒の英語でのコミュニケーション力の向上や国際教育の充実を図るため、日立市立全小・中学校に外国語指導助手（ALT）を配置した。



イ 学校通訳ボランティア派遣事業 * 随時／派遣人数8人、対象児童及び生徒13人

日本語が不自由な児童・生徒（外国人等）が十分な教育を受けられるように、通訳ボランティアを派遣し、対象児童生徒の学校生活を支援した。

◆スポーツ振興課

第52回日独スポーツ少年団同時交流（派遣）

* 7月30日（水）～8月13日（水）／参加者 日本団56人、ドイツ団85人

日独両国のスポーツ少年団の青少年及び指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的とし、国際経験豊かな指導者を育成するため、日独両国のスポーツ少年団のリーダーがお互いに相手国を訪問し、グループに分かれて、各地でスポーツ交流や施設研修、ホームステイ等のプログラムを16日間に渡り実施する交流事業を実施した。



◆公益財団法人日立地区産業支援センター

モンゴル寄附講座・インターンシップ *日本企業4社5人

* 6月18日(水)～19日(木) 寄附講座/受講生39人(モンゴル)

* 8月19日(火)～30日(土) インターンシップ受入れ7人(モンゴル)

外国中核人材の採用により、地域中小企業の人材確保及び成長促進を図ることを目的とし、モンゴルにて日本のモノづくり技術や文化などを教える日本式高専の学生を対象に、日立地区の企業がモンゴル国現地での講座を行い、学生との面談を通しインターンシップの招聘を実施した。



主な外国語表記刊行物

課所名	刊行物等	発行日等	内容
文化・国際課	外国人市民向け生活ガイドブック	令和5(2023)年3月	日立市で生活する際に必要な情報をまとめた外国人向けのガイドブック(英語・中国語・ベトナム語・タガログ語・やさしい日本語)
	日立市文化振興指針(改訂版)	平成29(2017)年3月	日立市における今後の文化振興に関する基本的な考え方や、施策の基本的な方向性を示すために改訂した文化振興指針(一部に英語を併記)
	タウランガ市親善訪問団派遣報告書	平成30(2018)年3月	タウランガ市親善訪問団派遣における、「第6回姉妹都市会議」の結果等をまとめた報告書(英語併記)
清掃センター	日立市ごみの出し方・分け方ガイド	令和7(2025)年2月	日立市の代表的なごみの出し方に関するガイドブック(HPで公開、英語・中国語・韓国語・ベトナム語・ポルトガル語)
広報戦略課	日立市勢要覧	平成27(2015)年12月	日立市の歴史、自然、観光、産業などの紹介、総合計画に基づいた現状と将来の展望及び統計資料を掲載した冊子(一部に英訳を併記)
観光物産課	観光ガイドマップ	平成23(2011)年11月	日立市の観光地等を紹介したガイドマップ(英語・中国語・韓国語)
	HITACHI CITY VISITOR'S GUIDE	平成28(2016)年10月	日立市の観光地、イベント行事、特産品等を紹介したパンフレット(英語)

◆助川小学校

国際交流事業◆ *9月25日（木）／来校者3人、10月24日（金）来校者2人

NPO 法人インパクトのALT（カナダ、フィリピン）を招き、児童との交流会や日立市の「街づくり」について協議会を実施した。



◆大久保小学校

外国籍児童の受け入れ *6月2日（月）～7月31日（木）／来校者7人

◆成沢小学校

外国籍児童の受け入れ *6月12日（木）～23日（月）／来校者1人

◆大沼小学校

ア ポーランドについて学ぼう *12月10日（水）／3年生 86人

ワールドキャラバン事業により、ポーランド人講師を招き、歌とピアノ演奏を聴いたり、クリスマスをテーマにした工作をしたりするなど、ポーランドの文化に触れた。

イ サンタクロースに手紙を書こう *12月1日（月）／4年生 90人

カナダのサンタクロース宛てにクリスマスカードを送付し、異文化体験をした。

ウ 留学生と交流しよう *11月17日（月）／5年生 85人

茨城キリスト教大学留学生7名を招き、各国の自然や言語について学んだ。また、日本におけるSDGsへの取組みについて学習したことを留学生に紹介した。



エ オーストラリアの児童と交流しよう *10月27日（月）／6年生 80人

オーストラリアニューサウスウェールズ州の小学校と交流を計画し、日本語を学習している学級とオンラインで交流した。また、日本語や英語でメッセージを書いたクリスマスカードを交換し、国際交流を実施した。



◆久慈小学校

外国籍児童の受け入れ

*4月15日(火)～25日(金) / 来校者2人、*7月1日(火)～18日(金) / 来校者3人、

*令和8(2026)年1月13日(火)～2月4日(水) / 来校者2人

◆坂本東小学校

国際交流事業 *9月25日(木) / 来校者3人、10月24日(金) 来校者2人

児童が外国人と触れ合う機会を積極的に設定し、外国の文化等に触れることにより、国際教育を推進するため、中国、インドネシアからの講師を招聘し、各国の文化等についての講話を聞いた。

◆茨城キリスト教学園中学校

ア 豪州短期留学プログラム *7月16日(水)～8月9日(土) / 生徒14人

異文化理解や国際交流の推進を目的として、ホームステイを行いながらオーストラリアの姉妹校ニューヘヴン校へ通い、現地の学生と共に授業を受けた。



イ 豪州学生ホームステイ受け入れ(中学校) *9月14日(日)～22日(月) / 留学生15人

異文化理解や国際交流の推進を目的として、オーストラリアの姉妹校ニューヘヴン校からの短期留学生を受け入れ、ホームステイをはじめとした様々な体験を実施した。

◆茨城県立日立第一高等学校附属中学校

ア プリティッシュヒルズ語学研修 *10月10日(金)～12日(日) / 2年生80人

英語文化体験・語学研修を通して、コミュニケーション能力を高め、グローバル人材としての素養を培うため、講座受講やスコーン作り体験を実施した。



イ シンガポール海外語学研修 *令和8(2026)年2月8日(日)～13日(金) / 3年生80人

国際感覚を身に付け、将来世界市場で活躍する素地を養い、シンガポールの同世代の生徒と交流することで、国際理解を深めるとともに国際親善を図るため、シンガポール大学等の大学生との交流、ホームステイ等を実施した。

ウ 我が国の未来を切り開くグローバルリーダー育成事業

* 7月28日(月)～30日(水) / 3年生 20人

国際社会で活躍できるグローバルな人材に必要な思考力や探究力、リーダーシップ等を育み、我が国の未来を切り開く次代のリーダーとなる人材を育成するため、英語研修施設（TOKYO GLOBAL GATEWAY）において英語合宿、留学生・海外研修等に参加した高校生・高校 ALT との交流会を実施した。



◆茨城キリスト教学園高等学校

- ア ニュージーランド学生受け入れ *4月15日（火）／ニュージーランドの学生8人、2年生生徒
異文化理解や国際交流の推進を目的として、ニュージーランドタウランガ市からのガールガイドの学生を受け入れ、第2学年の各クラスに所属し、一緒に授業を受けるなど様々な体験を実施した。
- イ 茨城キリスト教大学の留学生による文化紹介
*中国編 6月9日（月）／中国の学生8人、生徒35人
*ベトナム編 6月10日（火）／ベトナムの学生4人、生徒30人
*ウクライナ編 6月19日（木）／ウクライナの学生2人、生徒24人
*韓国編 6月24日（火）／韓国の学生2人、生徒24人
*インドネシア編 7月4日（金）／インドネシアの学生1人、生徒17人
留学生（中国、ベトナム、ウクライナ、韓国、インドネシア）による各国の文化紹介と交流を実施した。
- ウ G.R.E.A.T.Program2025（高校） *7月11日（金）～8月3日（日）／留学生12人
米国の大学生のような生活を経験することで、英語力の向上だけでなく、それを用いて学ぶという実践を通じて、上位のコミュニケーション力の育成を図ると共に、自立心を高めることを目的とし、アメリカの提携校アビリーン・クリスチャン大学へ通い、独自のプログラムを受講。テキサスの様々な文化を理解するイベント、アメリカの大学生のような生活を想起させるイベントなども体験した。
- エ カンボジアオンライン交流会 *7月25日（金）／参加者約6人、カンボジアの学生約20人
カンボジアの学校とオンラインでコミュニケーションを行った。
- オ 豪州短期留学プログラム（高校） *7月26日（土）～8月9日（土）／生徒15人
異文化理解や国際交流の推進を目的として、ホームステイを行いながらオーストラリアの姉妹校ニューヘヴン校へ通い、現地の学生と共に授業を受けた。
- カ ウクライナオンライン交流会（高校） *11月26日（水）／参加者9人、ウクライナの学生9人
ウクライナの学校とオンラインでコミュニケーションを行った。
- キ 国際理解講演会2025（高校） *11月28日（金）／講師9人、生徒講師9名、生徒246人
多文化共生社会への理解を深め、国際教養力の向上を図ることを目的とし、県内在住の外国人（カナダ、アメリカ、マダガスカル、ウクライナ、南アフリカ、韓国、ポーランドなど）を講師に招き、講演会を実施した。
- ク インドネシア学生受け入れ*12月19日（金）／インドネシアの学生44人、生徒40人
異文化理解や国際交流の推進を目的として、インドネシアからのタルナ・ヌサンタラ高等学校の学生を受け入れ、英語部によるスクールツアーや国際交流委員の生徒たちによる日本や茨城、本校の紹介をするプレゼンテーション等を実施した。
- ケ 長期留学生の受け入れ
*令和6（2024）年4月～令和7（2025）年1月末／留学生1人（タイ）
*令和6（2024）年8月末～令和8（2026）年7月／留学生1人（ドイツ）

◆多賀高等学校

オンライン交流 *8月19日(火)~20日(水) /参加者各4人
海外の高校生と互いの文化紹介などオンライン交流を実施した。

◆日立第一高等学校

イギリス海外研修 *10月14日(火)~24日(金) /講師2人、参加者19人
イギリスのロイヤルラッセルスクールで開催された模擬国連会議での意見発表や史跡・学校等の見学を実施した。



◆日立第二高等学校

国際教育講演会 *10月22日(水) /全校生徒
南アフリカ出身のALTを講師とし南アフリカの文化や生活の様子についての講演会を実施した。

◆明秀学園日立高等学校

ア オーストラリア交換留学 *9月/10人
クイーンズランド州の高校と交換留学を実施した。

イ 海外研修 *令和8(2026)年2月/2年生
カナダ、アメリカ、またはマレーシアから選択し、現地の学生との国際交流や文化体験等を実施した。

ウ 留学生の受入れ *4月~/5人
外国人留学生(中国、台湾)を受け入れた。

◆茨城大学

ア 留学生の受入れ *4月~、9月~/受入れ人数19人
外国人留学生(中国、インドネシア、インド、ネパール、バングラディッシュ、ベネズエラ)を受け入れた。

イ 学生チューター主催の国際交流イベント
*6月23日(月)~7月4日(金)(土日を除く)、10月21日(火)、10月22日(水)、10月28日(火)、
10月29日(水)、11月4日(火)、11月5日(水)、12月3日(水)、12月19日(金)
/参加者約10人(1回あたり)
日本の文化紹介、世界の様々なゲーム等を通して留学生と日本人学生の交流を図るとともに、相互理解を深めた。

ウ 日本語カフェ *4月~
留学生向けの初級日本語会話及び中級日本語ディスカッションを実施した。

エ ハノイ自然科学大学（ベトナム）との交流

(ア) サマープログラム（派遣） *9月15日（月）～20日（土）／派遣人数5人

国際感覚の養成、英語コミュニケーション能力の向上を目的として、日本人学生を派遣した。

(イ) オータムセミナー（受入れ） *11月30日（日）～12月7日（日）／受入れ人数5人

先端的な研究開発に触れる機会を提供し、学生と相互に交流を深めることを目的として、学生（ベトナム）を受け入れた。

◆茨城キリスト教大学

ア 交換留学生の受入れ *半年又は1年/受入れ人数 25人

日本語の修得及び日本文化等について理解を深めるとともに学生間の交流を図ることを目的として、交換留学生（中国、ベトナム、インドネシア、韓国、イタリア、ウクライナ）を受け入れた。

イ 交換留学生の派遣 *半年又は1年/派遣人数5人

外国語の修得及び各国の文化・情勢等について理解を深めることを目的として、学生を派遣した。（カナダ、スウェーデン、イギリス、韓国）

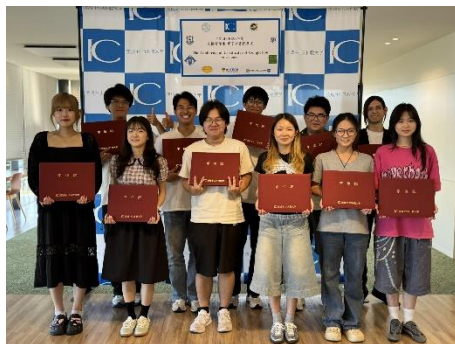
ウ 海外語学研修（派遣）

*春期休暇中の2～4週間/派遣人数5人（春期：イギリス、ニュージーランド、アメリカ）

*夏期休暇中の2～4週間/派遣人数5人（夏期：イギリス、ニュージーランド）

エ 短期留学生の受け入れ *受入れ人数 12人

日本語の修得及び日本文化等について理解を深めるとともに学生間の交流を図ることを目的として、アメリカ、カナダの提携大学から短期留学生を受け入れた。



オ 留学生による各国の文化紹介 *随時

異文化理解等を目的として、市内小中学校および交流センターからの依頼を受け、留学生による自国の文化紹介を実施した。

外国語表記刊行物

刊行物等	発行日等	内容
茨城キリスト教大学 大学英文パンフレット	令和7(2025)年4月	茨城キリスト教大学を紹介するガイドブック（英語）

◆日立国際交流協議会（事務局：日立市文化・国際課）

昭和55（1980）年にバーミングハム市（アメリカ合衆国アラバマ州）から姉妹都市提携の申出を受けたことがきっかけとなり、翌年に市内企業・教育機関・市民団体等を会員とした「姉妹都市提携協議会」として発足し、バーミングハム市との姉妹都市提携促進活動を行った。その後、昭和57（1982）年に姉妹都市提携協議会を発展させた「日立姉妹都市協議会」を発足して、同年4月23日にバーミングハム市との姉妹都市提携に尽力した。

昭和63（1988）年4月17日にはタウランガ市（ニュージーランド）とも姉妹都市提携し、市民の国際交流活動も広がりを見せていたことから「日立姉妹都市協議会」を発展的に改組し、平成元（1989）年5月に「日立国際交流協議会」として発足した。

現在は、各種機関・団体のネットワークを通じて、姉妹都市交流を始めとした国際交流や外国人市民への生活サポートなどの活動を市民レベルで推進し、市の国際交流活動の中心的な役割を担っている。

*設立年月日 昭和56（1981）年10月

*代表者 森村 由美子（会長）

*会員数 32団体

*連絡先 日立国際交流協議会事務局（日立市文化・国際課内）

TEL：0294（22）3111（内線535）メールアドレス：kokubun@city.hitachi.lg.jp

◇国際親善姉妹都市との交流事業

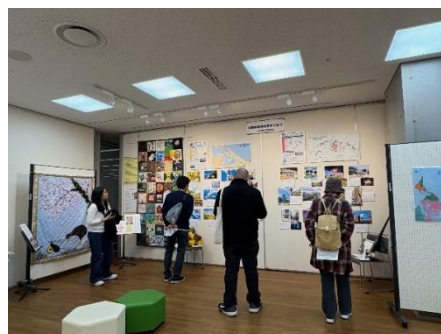
ア 「国際親善姉妹都市ウィーク」写真パネル展の開催 *4月12日（土）～24日（木）

バーミングハム市との姉妹都市提携日（昭和57（1982）年4月23日）及びタウランガ市との提携日（昭和63（1988）年4月18日）を記念し、その両日を含む1週間を「国際親善姉妹都市ウィーク」と位置付け、バーミングハム市及びタウランガ市の紹介パネルのほか、これまでの交流事業に関する写真パネル、両姉妹都市から贈られた記念品等を展示・紹介した。

イ 国際親善姉妹都市文化交流事業

*10月30日（木）～11月1日（土）／「第23回ひたち国際文化まつり」参加事業

国際親善姉妹都市に関する理解、関心を深めることを目的として、これまで築いてきたキルト文化の紹介や、それぞれの都市に関する写真等の展示を実施した。



ウ その他

日立市報、ホームページ、ケーブルテレビ等で姉妹都市交流に関する情報を紹介した。

◇外国人市民支援・多文化共生推進事業

ア 日立市の国際化及び多文化共生の推進についての検討 *通年

- (ア) 「日立市の国際化、多文化共生の推進に関する提言書」(平成30年9月に策定)に基づき、企画部会(PAVIDEA)において、多文化共生の推進に向けた課題の整理や具体的な事業の実施に向けた検討を行った。
- (イ) 外国人市民に対して、必要な情報を迅速かつ効率的に伝えることを目的として、メッセージアプリ「LINE」を使用し、災害や感染症等に関する情報等の提供を行った。

イ 外国人市民向け日立市生活研修会(施設見学会) *12月13日(土) /参加者49人

外国人市民に市の施策や事業について理解を深めてもらうことを目的として、外国人市民の生活に身近な市の施設(十王浄水場及びたかはら自然塾)の見学会を実施した。



ウ 災害時の外国人市民への支援体制の構築の推進

- (ア) 多言語(14言語)指さしボードを作成し、市が設置する各避難所に配備した。また、各コミュニティが設置する自主避難所の分も作成し、各コミュニティに使用方法を含めて配布を行った。
- (イ) 茨城県主催「令和7年度災害時外国人支援研修(オンライン研修)」*9月9日(火)
災害時の外国人支援の現状や必要性、課題等の基礎的内容を習得し、更なる「多文化共生の地域づくり」の推進を図った。

エ 外国人市民向け各種生活情報の提供 *通年

日立市ホームページ及び日立市公式SNS(Twitter、Facebook)、ケーブルテレビ等で、外国人市民向け各種生活情報(災害情報等)を多言語で提供した。

◇国際交流ボランティア育成事業

ア 日本語ボランティア養成講座(初心者対象)

*6月11日(水)~8月27日(水)(全9回) /受講者17人

市内の日本語教室において活動する外国人市民に日本語を教えるボランティア講師を養成することを目的として、初心者を対象とした入門講座を実施した。



イ 通訳ボランティア養成講座 *9月12日(金) /受講者13人

日本語での意思疎通が困難な外国人に対する、「コミュニティ通訳」の基礎知識や通訳技術を学ぶための研修会を実施した。※言語：英語、中国語、タガログ語



ウ 日本語ボランティア・ステップアップ講座

*令和8(2026)年1月14日(水)~2月18日(水)まで(全4回) /受講者21人

市内の日本語教室で活動する日本語ボランティアの能力向上を図ることを目的として、講座を実施した。



エ 外国人市民向け日本語教室運営団体への活動支援 *通年 / 3団体

外国人市民が地域で生活するために必要な日本語教育支援を行うことを目的として、外国人市民を対象とした日本語教室を運営する団体に対し、日本語教室運営の必要経費の一部を助成した。

オ 国際交流事業への活動支援 *通年 / 6団体

会員団体の活動の充実を図り、自主活動を促進・支援することを目的として、国際交流事業を実施する会員団体に対し、事業費の一部を助成した。

◇国際交流サロンの管理・運営

会員団体の国際交流団体の活動拠点として、国際交流サロン(日立市教育プラザ2階)を運営した。

◇その他(国際交流事業対応、各種団体への支援・協力等)

日立市が実施する国際交流事業(海外からの来市者受入れ等)への、通訳ボランティアの派遣、親書翻訳・作成等の協力を行った。また、各種団体からの依頼があった場合に、国際交流に関する情報提供、通訳ボランティア及び日本語教育ボランティアの派遣等を行った。

◆フレンドリーあんず

「茨城アジア教育基金」を支える会に協力し、平和な国際社会を目指して世界諸国の人々と交流し、互いに理解を深め、共に生きる喜びを分かち合うことを目的に活動している。

- *設立年月日 昭和 60 (1985) 年 7 月 19 日
- *代表者 福地 季子
- *会員数 32 人
- *連絡先 福地 季子 TEL : 0294 (21) 4150

ア 外国人市民向け日本語教室 *通年(毎週火曜日、金曜日)参加者延べ 39 人



イ フレンドリーあんずの夏まつり *7月12日(日) /参加者 50 人

日立の自然に親しむとともに、会員と在住外国人同士の懇親を深めることを目的に、バーベキューとスイカ割りを楽しんだ。

ウ 文化交流会 *12月14日(日) /参加者 47 人

日本文化について理解を深めることを目的として、紙芝居と昔話を通して交流をした。また、参加者が出身国の文化を披露し、ゲームを通して交流をした。



エ 外国人のための生け花クラブ *通年 /参加者 62 人

暮らしに潤いを持つことを目的とし、季節や行事を楽しむ生け花を体験した。

◆国際交流ボランティアネットワークさくら

ボランティア一人ひとりをネットワークすることを目的に発足。「身近に出来ることから国際交流を考え行動しよう」をモットーに、さくらの五弁の花びらにちなみ、5つの分野（語学、支援、研修、文化交流、ホームステイ・ビジット）で活動を展開している。

*設立年月日 平成2（1990）年11月10日

*代表者 臼井 多賀子（代表世話人）

*会員数 33人

*連絡先 臼井 多賀子

TEL：0294（34）6257 メールアドレス：takako_usui2002@yahoo.co.jp

ア 外国人市民向け日本語教室 *通年（毎週木曜日、土曜日）／参加者延べ40人

イ インターナショナルトーク

*11月1日（土）／発表者10人、観覧者約90人 *「第23回ひたち国際文化まつり」参加事業

異文化理解及び国際交流を目的として、外国人パネリストによる意見発表や質疑応答を実施した。



ウ 設立35周年記念講演会 *11月30日（日）／参加者50人

設立35周年の記念事業として、演題“写真家渋谷敦志が伝える世界の現状” Humanity（人間らしさ、人としての思いやり）が忘れ去られたような世界にカメラを向け続けて来た写真家からのメッセージを伝える講演会を実施した。



エ 設立35周年記念誌発刊 *令和8（2026）年1月31日（土）

◆KIWI-VULCAN-HITACHI

日立市の国際親善姉妹都市であるタウランガ市・バーミングハム市の市民と、さまざまな交流を通して友情を育み、互いの文化を学び、より深く理解することを目標に活動している。

*設立年月日 平成 15 (2003) 年 10 月

*代 表 者 森村 由美子 (会長)

*会 員 数 20 人

*連 絡 先 森村 由美子

TEL : 0294 (37) 1483 メールアドレス : morimura@dune.ocn.ne.jp

ア 国際親善姉妹都市紹介 *11月1日(土) / *「第23回ひたち国際文化まつり」参加事業
国際親善姉妹都市であるタウランガ市とバーミングハム市の紹介を行った。

イ ホームステイ受入れ *随時
市内の大学に通う留学生(アメリカ)のホームステイ受入れを行った。

◆日本語の部屋

県民大学「日本語指導基礎講座」修了生によって設立。会員の地域生活者としての力と日本語支援スキルを活用して、外国人市民のための日本語教室の開催を始め外国人学習者との交流事業等を実施している。

*設立年月日 平成 21 (2009) 年 4 月 1 日

*代 表 者 鈴木 茂樹 (代表)

*会 員 数 14 人

*連 絡 先 鈴木 茂樹

TEL : 090 (9149) 1129 メールアドレス : mr.children@net1.jway.ne.jp

外国人市民向け日本語教室 *通年(毎週木曜日、土曜日) / 参加者各回5~10人



◆ガールスカウト日立市国際交流委員会

ガールスカウトの教育理念に基づき、少女たちを支える指導者の育成と資質向上を目指した活動を実施している。日立市の国際親善姉妹都市であるニュージーランド・タウランガ市ガールガイドとの交流等を実施し、野外活動や異文化体験等を通じて「世界市民を育てる」ことを目標として活動している。

*設立年月日 昭和 54 (1979) 年 4 月

*会 員 数 50 人

ガールスカウト日立市姉妹都市交流 2025

* 4月10日(木)～24日(木)

* タウランガガールガイド10人、日立市ガールスカウト、一般参加者延べ120人

平成13(2001)年から続く相互派遣交流事業である日立市と姉妹都市ニュージーランド・タウランガ市のガールガイドを招き、相互文化交流と海を越えた友情を育むことを目的に、合同舎営、ホームステイ、日本文化体験、イングリッシュキャンプ、いっしょにあそぼ(市民との交流)を行った。



◆ひたちとアジアの文化交流をすすめる会

アジア文化を広く市民に紹介し、その裾野を広げていくため、「アジア諸国との文化交流」をキーワードに組織された市民ボランティアネットワーク。「ひたち国際文化まつり」の開催を中心に、各種活動を実施している。

*設立年月日 平成9（1997）年4月

*代表者 小澤 紀夫（会長）

*会員数 101人

*連絡先 ひたちとアジアの文化交流をすすめる会事務局
（日立シビックセンター交流事業課内）

TEL：0294（24）7711 メールアドレス：salon@civic.jp

ア アジア文化講演会「わたしが体験したフィリピン」 *5月17日（土）／参加者29人

異文化理解を目的として、海外青年協力隊としてフィリピンに派遣された経験のある講師を招き、異ラオスの現状についての講演会を実施した。

イ フィリピン料理講座 *9月28日（日）／参加者28人

辻ローナさん（茨城県在住フィリピン人）を講師に招き、異文化理解を目的にフィリピンで有名な料理「アドボ」の作り方や文化を学んだ。



ウ 第23回ひたち国際文化まつり *10月30日（木）～11月1日（土）／参加者2,605人

広く市民に世界各国の文化を紹介し、国際交流や異文化に関する理解を深めてもらうことを目的に、日立市内の国際交流団体による、展示や体験、発表等を行った。



◆日立市日中友好協会

平成8（1996）年5月に「茨城県日中友好協会」が発足したことを受けて結成。日本と中華人民共和国の様々な分野（文化、教育、経済）に渡る友好交流や留学生・研修生等との交流、支援を目的に活動している。

- *設立年月日 平成8（1996）年6月
- *代表者 藤井 生美（会長）
- *会員数 57人
- *連絡先 藤井 生美 TEL：090-2912-4461

ア 第6回パンダアートコンテスト開催 *7月1日（火）～31日（木）/応募総数828点

ジャイアントパンダ誘致醸成を目的に、市内小中学校、高校、一般から「ジャイアントパンダとぱんだーるくん・ぱんだーなちゃん」をテーマに絵画と4コマ漫画を募集した。日立市内応募全作品を10月18（土）～26日（日）にシビックセンター・マーブルホールにて展示した。

イ 第3回パンダフェス開催 *10月18日（土）～19日（日）/参加者延べ20,000人

ジャイアントパンダ誘致醸成及び日立港から世界へつながるダイバーシティ「茨城」をアピールすることを目的に、パンダフェス（Peace And Diversity ～老朋友～）と題し、キッチンカーの出店や音楽ステージ発表などのフェスを開催した。

ウ 第2回ワンダーパンダーランド<ダンスバトル>開催 *10月18日（土）

日本を代表するダンスクリエイターであるSAM氏がパンダフェスのために作曲した楽曲・ワンダーパンダーランドに世界トップレベルの振り付けを施した難度の高いダンスを課題曲として、ダンスに自信のある個人・団体がダンスバトルを繰り広げた。

エ 第4回パンダンスコンテスト開催 *10月19日（日）

幼稚園から最高齢90歳のグループが出演し、グループごとに手作りの衣装や演出等笑顔あふれるダンスを披露した。

オ 第18回日中友好交流会議 *10月18日（土）～10月20日（月）

中国と日本で交互に毎年開催されている国際会議・日中友好交流会議が日立市を会場として、中国各地そして日本各地からの参加を得て盛大に開催された。

カ 中国語スピーチコンテスト *11月8日（土）/朗読部門、スピーチ部門

中国語学習の普及と質の向上を目的として、NPO法人茨城県日中友好協会が主催となりスピーチコンテストを開催した。

キ 第23回ひたち国際文化まつり *11月1日（土）/参加者約800人

国際文化交流を目的として、パンダぬいぐるみのお店を出店した。

◆多文化ひろば★うみ

多文化料理会

- *ネパール編 7月17日（木）/ネパール人講師1人、参加者15人
- *インド編 11月11日（火）/インド人講師1人、参加者20人

地域住民の交流、在留外国人のエンパワメントを目的とし、各国の伝統料理を一緒に作り、一緒に試食しながら交流した。

(5) その他市内団体の取組

◆ひたち生き生き百年塾

*会 員 数 72人
*連 絡 先 百年塾サロン
TEL : 0294 (23) 9165

ア 国際交流講座 世界おもしろ発見クラブ

*6月15日(日)、8月17日(日)、9月21日(日)、10月25日(土)、11月23日(日)、12月21日(日)
*参加者延べ112人

異文化理解や国際交流の推進を目的として、外国人講師を招き言語、学校生活、食文化、通貨、伝統など、講師から話を伺い、交流した。



イ ひたち市民カレッジ *10月8日(水) /参加者16人

異文化理解を目的として、「海外から見た日本」をテーマに、文化や生活等の違い、改善等について意見交換を実施した。

ウ 体験コーナー「世界の文化を体験しよう」

*11月2日(土) /参加者延べ120人 *「第23回ひたち国際文化まつり」参加事業

講師(中国、カナダ)を招き、中国のおもしろ脳トレ(計算パズル)とアメリカ合衆国アリゾナ州のおもしろ文化(歴史や観光、動物、通貨、スポーツなど)についてのクイズで交流した。

エ 国際交流講座 世界おもしろ発見クラブ「10PhotoExchange(メール交換)」

*12月7日(日)、17日(水) /参加者延べ9人

アメリカ合衆国カリフォルニア州エルドラドの小学校と「外国人のお友達に知らせてあげたいこと」についてレポートを交換やアメリカ合衆国ゴータムの家族へ、手作りのクリスマスカードを送付した。

◆公益財団法人日立市民科学文化財団

ア ひたち国際大道芸

*日立会場5月10日(土)、多賀会場5月11日(日) /来場者約60,000人(日立会場)、90,000人(多賀会場)

市民交流事業の一環として、交流人口の拡大、地域振興及び市街地の活性化を図るため、国内外で活躍する大道芸アーティストの出演による、国際色豊かなフェスティバルを実施した。

イ 第23回ひたち国際文化まつり *10月30日(木)~11月1日(土) /来場者2,605人

世界各国の文化を広く市民に紹介し、国際交流・異文化に関する理解を深めてもらうことを目的とし、国際交流活動を推進している団体等と連携をしながら世界各国の文化紹介や体験、展示を実施した。

◆日立さくら日本語学校

ア 外国人への日本語教育 *通年

法務省告示校として日本留学を希望する外国人のビザ申請を行い、留学生を受け入れ、日本語教育及び進学指導を行った。

イ 日本語学校紹介

日立さくら日本語学校の取り組みや、留学生の入国から進学までの流れなどを紹介した。

※第23回ひたち国際文化まつりにおいて開催

ウ ワールドキャラバン(国際理解教育講師等派遣事業)

茨城県国際交流協会ワールドキャラバン事業に協力し、日立さくら日本語学校の留学生が小中学校を訪問し、生徒たちに文化紹介を行った。

エ 成果発表会 *令和8年(2026)年2月10日(火)

学生が日頃から勉強している日本語の成果を自治体職員や地域住民の方々に向けて発表した。

オ 日本文化体験ツアーへの講師派遣

日本旅行ビジネスクリエイト企画の日本文化体験ツアー(モニターツアー)においての日本語講座に講師を派遣した。

◆日立ロータリークラブ

ア 留学生(米山奨学生)への奨学金贈呈ロータリークラブ活動を通しての交流 *通年

留学生への支援を目的とし、奨学金の贈呈式(月次)及びロータリークラブ例会での交流を行った。

イ ネパールの恵まれない子供たちへの文房具、スポーツ用品提供

*令和8年(2026)年1月15日(木)~16日(金)

ネパールの教育支援を目的とし、日立ロータリークラブ、下館ロータリークラブ、茨城県のその他有志ロータリークラブ及びネパールのカスタマンドアップロータリークラブとの共同で、カトマンズ市内の小、中学校3校への文房具とスポーツ用品を贈呈をおこなった。

◆日立南ロータリークラブ

*代表者 佐藤 信彦(会長)

*会員数 34人

*連絡先 佐藤 信彦 TEL: 0294-36-5074

メールアドレス: info@hitachi-south-rc.org

米山記念奨学生の受入れ *4月1日(火)~9月30日(火)/34人

ロータリークラブの米山記念奨学生1人(中国、茨城大学大学院博士課程)を受入れ、世話クラブとして国際親善活動を実施した。

◆日立ライオンズクラブ

*代表者 高沢 法男 (会長)
 *会員数 22人
 *連絡先 高沢 法男 TEL: 0294-22-5121
 メールアドレス: hitachi-1c@ce.wakwak.com

眼科検査・眼鏡贈呈 *12月15日(月)

眼鏡入手困難な海外の方へ、視力補助となるよう、より文化的な生活の一助となるよう支援するため、日立市内公立図書館4館、協力眼科医から回収した中古眼鏡を消毒・検査しライオンズクラブ国際協会本部へ発送し世界各地の視力弱者の方へ、眼科検診、視力補助としての眼鏡を贈呈。平成29(2017)年度から事業を開始し、令和7年度回収分874個含め合計6,142個を発送した。



◆茨城交通株式会社

*代表者 任田 正史 (代表取締役社長)
 *連絡先 小野崎 崇 TEL: 0294-52-1237
 メールアドレス: t_onozaki@ibako.co.jp

第8回「日立市中学生海外ホームステイ体験」 *8月1日(金)~11日(月) / 6人

姉妹都市であるタウランガ市でのホームステイをはじめ、学校授業・現地市長訪問などの経験を通して、真のグローバルな人材を育成する事を目的とし、タウランガ市における9日間のホームステイ体験および5日間の現地学校での授業を受講した。



◆日立市スポーツ少年団本部

*会 員 数 1,996 人
*連 絡 先 東ヶ崎 颯 TEL : 0294-36-6661

第 52 回日独スポーツ少年団同時交流（派遣） *7月30日（水）～8月13日（水）／1人

日独両国スポーツ少年団の青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的とし、国際経験豊かな指導者を育成するため、日独両国のスポーツ少年団のリーダーがお互いに相手国を訪問し、グループに分かれて、各地でスポーツ交流や施設研修、ホームステイ等のプログラムを16日間に渡り実施した。



◆田尻学区コミュニティ推進会

青少年健全育成連絡協議会 *12月6日（土）／中国人講師1名、田尻学区住民・外国人市民参加者45人

青少年の健全育成目的とし、『教えるより育てる』～子どもの力を信じる教育～をタイトルとし、中国人市民を講師に招きに講演を実施した。

2 国際親善姉妹都市のあらまし

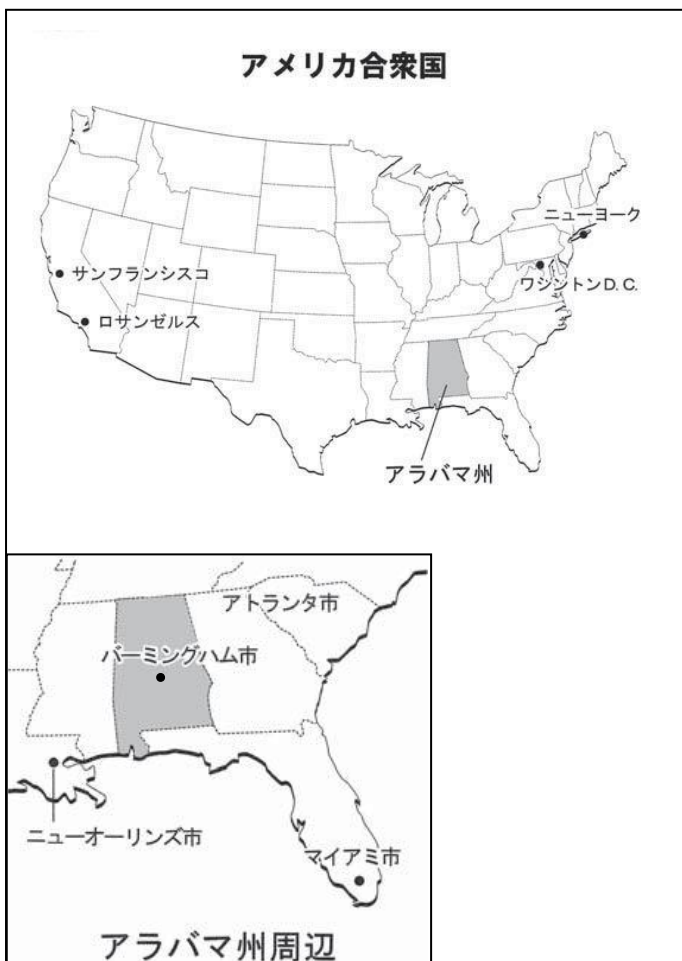
(1) バーミングハム市（アメリカ合衆国アラバマ州）

バーミングハム市は、アメリカ合衆国南東部アラバマ州の中心都市です。市内には、日本庭園も含め数多くの公園があり、豊かな生活環境を持ったまちです。まちのシンボルである「バルカン像」（ローマ神話に登場する火と鍛冶の神）は、このまちが鉄鋼業によって目覚ましい発展を遂げた歴史を表しています。

現在は、がん治療、エイズ研究、臓器移植などの最先端診療施設を有するアラバマ大学バーミングハム校医学部をはじめ、多くの先端専門医療センターが集積し、国際的な医療の中心地となっています。また、ロボット、航空・宇宙工学、バイオテクノロジーなどのハイテク企業が数多く進出し、経済活動が活発なまちとしても知られています。

また、バーミングハム市は、『青春』の詩で知られるサミュエル・ウルマンの出身地としても有名で、ウルマン記念館や南部最大の市立美術館、飛行博物館などがある文化都市です。毎年、「アート・フェスティバル」など数多くのイベントが開催され、世界の様々な国々との芸術文化交流を行っています。

日立市と同じく鉱業のまちとして発展した点がきっかけとなり、昭和 57（1982）年 4 月 23 日に国際親善姉妹都市の提携をしました。その後、市民訪問団・市内高校生のバーミングハム市訪問、キルト文化を通じた交流など幅広い交流が行われています。



バーミングハム市の中心市街地



サミュエル・ウルマンの胸像

(2) タウランガ市（ニュージーランド ベイ・オブ・プレンティ地方）

タウランガ市は、ニュージーランド国北島の北東部に位置し、プレンティ湾という美しい海に面したまちです。「タウランガ」とは、この地域の先住民族であるマオリ族の言葉で、“^{いかり}囲まれた水” “カヌーの錨を降ろす場所” という意味です。

古くはカヌーによる海上交通の中継地として発展してきた歴史があり、現在でもニュージーランド国最大規模の商業港であるタウランガ港を経済の中心に発展しています。近年では、国内で最も人口の伸びをみせるまちの一つとなり、平成 25（2013）年の人口は約 115,161 人と、令和 5（2023）年国勢調査時の約 152,844 人と比べると、10 年間で約 32.7%の増加となっています。

気候は一年中温暖で、キウイフルーツやアボカド、柑橘系の果樹栽培が盛んです。また、豊かな自然と美しい海岸線を持ち、国内でも有数のリゾート地でもあります。特に、夏の間はマリンスポーツを楽しむ観光客でにぎわい、訪れる観光客は年間約 50 万人にもものぼります。

日立市とは、市民みこし訪問団や青少年の交流を通して、昭和 63（1988）年 4 月 18 日に国際親善姉妹都市の提携をしました。その後、ロータリークラブ、ガールスカウトの姉妹クラブの提携や文化・スポーツ交流など幅広い交流が行われています。



タウランガ市全景



タウランガ市内のマリーナ

(3) 姉妹都市データ（日立市との比較）

（令和 8（2026）年 3 月 31 日現在）

項目	バーミングハム市	タウランガ市	日立市
市章			
国	アメリカ合衆国	ニュージーランド	日本国
市制施行	明治 4 (1871) 年 12 月 19 日	昭和 38 (1963) 年 4 月 17 日	昭和 14 (1939) 年 9 月 1 日
市長	ランドル・ウッドフィン	マヘ・ドライスデール	小川 春樹
位置	北緯 33 度 34 分 西経 86 度 45 分	南緯 37 度 42 分 01 秒 東経 176 度 09 分 51 秒	北緯 36 度 35 分 56 秒 東経 140 度 39 分 02 秒
面積	393.5 km ²	168 km ²	225.73 km ²
人口	195,378 人 (令和 7 (2025) 年統計)	161,000 人 (令和 7 (2025) 年統計)	159,129 人 (令和 8 (2026) 年 3 月 1 日現在)
年平均気温	17.4℃ (令和 7 (2025) 年統計)	15℃ (令和 7 (2025) 年統計)	16.1℃ (令和 7 (2025) 年統計)
年間降水量	1,364 mm (令和 7 (2025) 年統計)	926.9 mm (令和 7 (2025) 年統計)	1,209 mm (令和 7 (2025) 年統計)
通貨	アメリカドル	ニュージーランドドル	日本円
主要産業	医療サービス 医療機器製造業	園芸（キウイフルーツ・亜 熱帯性果実）、農業、草花栽 培、港湾業	工業 農業
議員の数	9 人	10 人	24 人
日本からの距離	約 11,600 km	約 8,900 km	—
日本との時差 （夏時間）	11～3 月 -15 時間 4～10 月 -14 時間	4～9 月 +3 時間 10～3 月 +4 時間	—
飛行機での 所要時間	約 14 時間	約 10～13 時間	—
姉妹都市提携 年月日	昭和 57 (1982) 年 4 月 23 日	昭和 63 (1988) 年 4 月 18 日	—

【参考】姉妹都市とは？

■姉妹都市提携の定義・意義とは

世界で最初の姉妹都市提携は、明治 26 (1893) 年にスイスのベルン市とアメリカ合衆国ニューベルン市との間で締結されたと言われています。

わが国における海外自治体との姉妹都市交流提携は、昭和 30 (1955) 年 12 月に長崎市とセントポール市 (アメリカ合衆国ミネソタ州) の間で結ばれたことに始まり、それから半世紀以上が経った現在、姉妹都市提携をしている自治体は 910 団体、提携件数は 1,866 件 (都道府県 176 件、市区町村 1,690 件) で、相手国は 77 カ国・地域に達しています (※)。

※令和 8 (2026) 年 4 月 1 日現在 ((一財) 自治体国際化協会調査)

姉妹都市の定義については、法律上定められているものはありません。本来、交流というものは、人と人とが触れ合うことであり、自由な発想のもとに行われるものであることから、定義づけをすることにはなじまないという理由からと考えられます。

広辞苑 (岩波書店) によると、姉妹都市とは「文化交流や親善を目的として結びついた国際的な都市」と説明されています。

(一財) 自治体国際化協会調査では、姉妹都市に関する統計処理を行ううえで、一定の判断基準を設けないと不都合が生じることから、次に掲げる要件のすべてに該当するときは、「姉妹 (友好) 自治体」として取り扱うこととしています。

- (1) 両首長による提携書があること。
- (2) 交流分野が特定のものに限られていないこと。
- (3) 交流するに当たって、何らかの予算措置が必要になるものと考えられることから、議会の承認を得ていること。

また、「姉妹都市」「友好都市」「友好交流都市」などの名称により、自治体同士で行われている都市間交流について上記 3 点の基準を満たしていれば、(一財) 自治体国際化協会調査では「姉妹 (友好) 自治体」として取り扱うこととしています。

わが国の最初の姉妹自治体提携は、1955 年 (昭和 30 年) 12 月に長崎市とアメリカ合衆国セントポール市との間に締結されました。

姉妹自治体提携数は、年々増加し、1993 年 12 月には 1,000 件、現在では 1,700 件を超えています。

姉妹自治体交流は自治体が行う国際交流を推進する典型的な手法の一つです。住民が参加できる機会も多いことから、国際交流施策の中核として重要なものとなっています。

姉妹自治体交流には、相互理解や国際親善の推進、地域の振興・活性化、さらには国際社会の平和と繁栄への貢献といったことが期待されています。

姉妹自治体交流を通じて、相手地域のニーズを的確に把握し、きめ細かな交流を行うことにより、儀礼的な友好親善を目的とするものにとどまらず、人的交流、文化交流、さらには、技術・経済交流といった共通の目的を持ち、相互協力まで発展しているものもあります。

■姉妹都市提携の上位 10 カ国

(令和 8 (2026) 年 3 月 31 日現在)

1	アメリカ合衆国	471 件
2	中国	383 件
3	大韓民国	169 件
4	オーストラリア	109 件
5	カナダ	72 件

6	台湾	65 件
7	フランス	59 件
8	ドイツ	58 件
8	ブラジル	58 件
10	ロシア連邦	48 件

< (一財) 自治体国際化協会調査 >

■姉妹都市の呼称の由来

日本では「姉妹都市」という呼び方が一般的に使用されていますが、これは元々アメリカで「Sister city」と呼ばれたことから、それを直訳した「姉妹都市」という呼び方が今日まで多く採用されてきたものと思われます。

なお、イギリスでは「Twin City (双子都市)」と呼ばれることが多く、フランスでは「ville jumelle」、イタリアでは「citta gemellare」と「Twin」に相当する言葉が使われているようです。

ドイツでは「Partnerstadt (パートナー都市)」と呼ばれることが多く、オーストリアでは「Schwesterstadt」、スペインでは「ciudad hermana」、ポルトガルでは「cidade irma」という「Sister」に相当する言葉、ロシアでは「Города-Побратимы」という「Brother」に相当する言葉が使われています。

また、中国との提携の場合には、「姉妹」を用いると、どちらが姉か妹かという上下関係の問題が生じることから、「姉妹都市」という言い方は避け「友好都市」という呼称が用いられています。

韓国との提携の場合には従来、国 (行政自治部) の承認を得たものが「姉妹都市」とされていました。しかし、2004 年から行政自治部の承認が不要となったので「姉妹都市」「友好都市」の差異はないと思われれます。

最近行われている提携では、中国との間だけでなくいろいろな国との間で「友好都市」、「友好交流都市」などという名称が見受けられるようになりました。「姉妹都市の前段階としての友好都市締結」や「姉妹都市交流ではないが、交流は続けたい」ということで「友好都市」提携を結んでいる自治体も多く見られます。

(一財) 自治体国際化協会「姉妹 (友好) 提携情報」より

3 国際交流よくある質問 F A Q

(1) 外国語で相談したいときは…？

(公財) 茨城県国際交流協会では外国人の皆さんのために、法律、在留、労働、結婚、教育、そのほか生活全般についての相談受付をしています。相談できる言語は曜日によって異なりますので、電話・面接などでご相談ください。相談料金は無料です。

また、法律上の専門的な相談が必要な方のために、無料の弁護士相談会をしています（予約が必要です）。

外国人相談センター TEL 029-244-3811（午前 8 時 30 分から午後 5 時まで）

各言語相談日一覧

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
日本語・英語・その他				
ベトナム語	韓国語	タイ語	ポルトガル語	タイ語
		中国語	タガログ語	
中国語 (午後 1 時 30 分から)	スペイン語	ベトナム語	インドネシア語	シンハラ語 (午後 1 時 30 分から)

※その他の言語については、相談員が翻訳機器等を活用する等して対応しています。

(2) ホームステイの受入れをやってみたいときは…？

海外から青少年グループなどが来市する際に、市ではホームステイのご協力をいただけるホストファミリーを募集しています。ホストファミリーの募集は、市報等などでお知らせします。



(3) 国際交流に関するボランティア活動をやってみたいときは…？

市内には、国際交流を目的として活動している、さまざまなボランティア団体があります。団体によって活動内容が異なりますので、詳細については、各団体にお問い合わせください。

※各団体の紹介及び問合せ先は、P. 11～P. 23 の国際交流活動団体のページに記載してありますので、お気軽に連絡してください。

(連絡先の掲載がない団体については、文化・国際課にお問い合わせください。)

(4) 日本語ボランティアとして活動したいときは…？

日立市には、日本語ボランティア活動を行う団体が3つあり、それらの教室に所属することで活動することができます。外国人市民に日本語を教える日本語ボランティア活動をするためには、特別な資格や条件は必要ありません。

団体によって開催曜日や時間が異なりますので、詳しくは、各団体の日本語教室の担当者にお問い合わせください。

最新の状況については、日立市ホームページをご確認ください。

https://www.city.hitachi.lg.jp/kurashi_tetsuzuki/foreigners/1013568.html

■フレンドリーあんず

令和8（2026）年3月31日現在

	教室1	教室2
曜日	火曜日	金曜日
時間	19：00～20：30	14：00～15：30
会費	300円（1ヶ月）	
場所	女性センター （日立市鮎川町1-1-10）	教育プラザ （日立市神峰町1-6-11）
連絡先	比良 康夫 090-4619-4109	金岡 けい子 0294-42-8176

■国際交流ボランティアネットワークさくら

令和8（2026）年3月31日現在

	教室1	教室2
曜日	木曜日	土曜日
時間	10：00～11：30	10：00～11：30
会費	2,000円（6ヶ月）	
場所	教育プラザ （日立市神峰町1-6-11）	女性センター （日立市鮎川町1-1-10）
連絡先	飯村 健二 090-4422-6816	勝木 由紀子 0294-35-3475

■日本語の部屋

令和8（2026）年3月31日現在

	教室1	教室2
曜日	木曜日	土曜日
時間	18：00～20：00	10：00～12：00
会費	1,000円（2ヶ月）	
場所	十王交流センター （日立市十王町友部129-2）	県北生涯学習センター （日立市十王町友部2581）
連絡先	遠藤 愛子 090-6834-1119	鈴木 茂樹 090-9149-1129

■フレンドリーあんず

【担当者コメント】 みなさん一緒に日本語ボランティア活動をしませんか！日本にしながら国際交流が出来ます。世界の文化を身近に感じられます。外国人の皆さん、フレンドリーに日本語と日本について一緒に楽しく学びましょう！働いている人、学生、主婦の皆さん、どなたでも、いつでも大歓迎です。



■国際交流ボランティアネットワークさくら

【担当者コメント】 毎週木曜、土曜の午前中に約15ヶ国からの受講生の方々が、楽しく日本語を学び、またお互いの異文化を学びあっています。初めて日本語を学ぶ方から日本語能力試験N1を合格された上級者まで家族的な雰囲気です。日本語を学びたい方、教室でお待ちしています。



■日本語の部屋

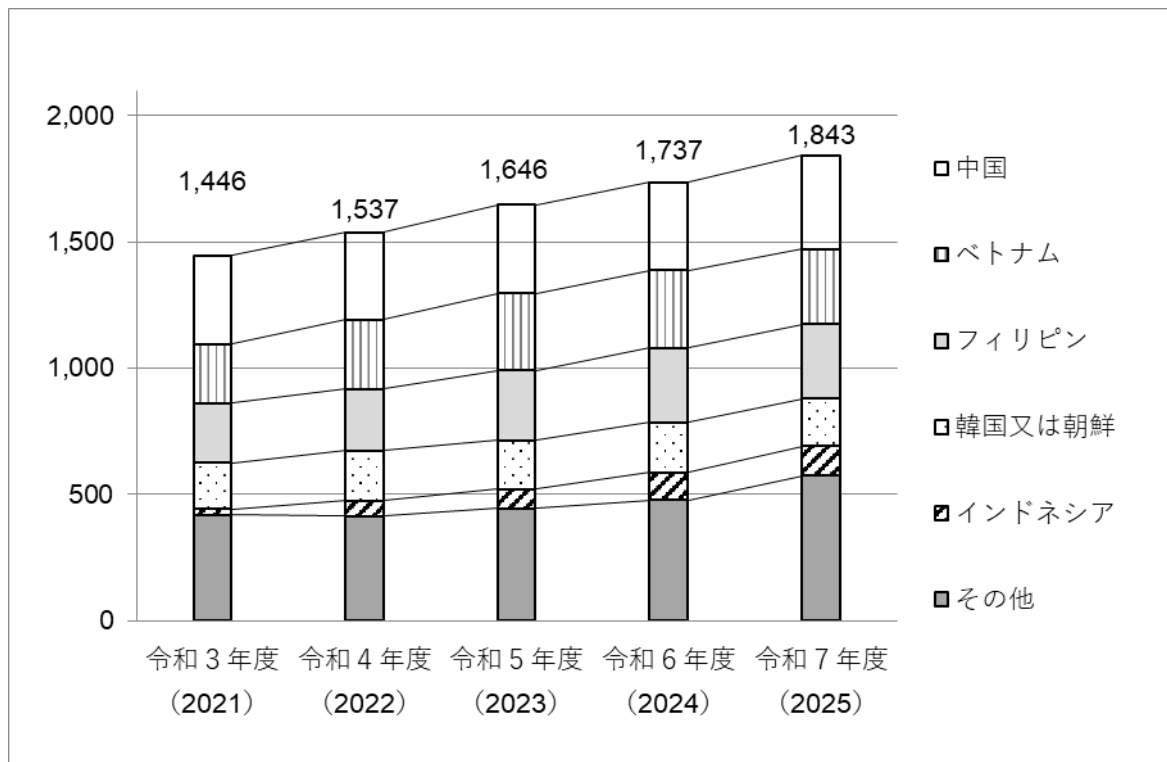
【担当者コメント】 日本語の部屋の教室は JR 十王駅の近くです。学習者一人一人のレベルや目的に合わせた勉強をしています。ぜひ一緒に日本語を勉強しましょう！



4 参考資料

(1) 日立市内の外国人市民数

ア 外国人市民数の推移



イ 国別外国人数の推移 (上位 10 か国)

(各年度 3 月 31 日現在 単位：人)

国名 \ 年	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
中国	350	344	349	350	372
ベトナム	235	275	306	308	297
フィリピン	235	244	276	294	296
韓国又は朝鮮	183	198	193	198	188
インドネシア	23	63	77	109	115
ネパール	42	57	72	82	82
タイ	65	54	61	69	72
米国	36	41	43	54	56
ブラジル	23	43	54	33	21
ミャンマー	その他に含む	12	21	31	79
その他	254	206	194	209	265
登録者数合計	1,446	1,537	1,646	1,737	1,843
登録国数 (単位：国) ※無国籍を除く	48	45	46	47	52

ウ 在留資格別外国人数

(令和8(2026)年3月31日現在 単位:人)

在留資格	登録者数	在留資格	登録者数
永住者	445	企業内転勤	19
技術・人文知識・国際業務	243	技能実習2号イ	14
特定技能1号	238	高度専門職1号ロ	14
留学	136	介護	12
家族滞在	113	特定技能2号	8
技能実習2号ロ	111	技能実習3号ロ	7
特別永住者	109	経営・管理	6
日本人の配偶者等	102	教授	5
定住者	64	高度専門職2号	3
技能実習1号ロ	54	研究	2
教育	46	宗教	1
特定活動	45	技能実習3号イ	1
永住者の配偶者等	24	文化活動	1
技能	20		
令和8(2026)年3月31日現在 外国人市民登録者数 1,843人			

エ 市内大学等の留学生数の推移

(3月31日現在 単位:人)

大学名 \ 年	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)
茨城キリスト教学園 高等学校	0	0	0	2	2
日立第一高等学校	0	0	0	1	0
明秀学園日立高等学校	-	-	-	-	13
茨城大学工学部及び 理工学研究科	129	101	76	74	84
茨城キリスト教大学	1	17	9	15	14
日立さくら日本語学校	28	27	64	82	88
留学生合計	158	145	149	174	201

注1) 留学生とは、在留資格が「留学」の者である。

注2) 市内大学等に所属している留学生のため、市外在住者も含む。

注3) 明秀学園日立高等学校については、令和6年以前は調査実績無し。

(2) 茨城県内の外国人市民数

ア 県内国籍別外国人数

(令和6年までは12月31日時点 単位：人)

国名 \ 年	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年6月 (2025)
ベトナム	11,816	15,250	18,163	20,287	20,704
中国	11,584	11,971	12,346	12,959	13,040
フィリピン	9,923	10,730	11,416	12,037	12,109
インドネシア	3,970	5,968	8,362	10,529	11,381
ブラジル	5,996	6,126	6,186	5,908	5,764
タイ	4,893	5,267	5,404	5,607	5,512
スリランカ	3,053	3,380	4,050	5,682	5,679
韓国	4,090	4,105	4,039	4,015	4,056
ネパール	1,485	1,829	2,680	4,080	3,750
パキスタン	1,921	2,222	2,771	3,440	3,143
登録者数合計	71,121	81,478	91,694	102,549	106,490
登録国数 ※無国籍を除く (単位：国)	151	157	159	159	151

<県女性活躍・県民協働課調べ>

イ 県内市町村別外国人数

(令和7(2025)年6月30日時点)

順位	市町村	登録者数(人)	順位	市町村名	登録者数(人)
1	つくば市	14,650	11	下妻市	3,419
2	常総市	7,217	12	結城市	3,258
3	土浦市	6,838	13	取手市	3,253
4	古河市	6,329	14	ひたちなか市	2,852
5	坂東市	4,849	15	小美玉市	2,292
6	水戸市	4,772	16	八千代町	2,142
7	筑西市	4,647	17	牛久市	2,043
8	鉾田市	4,079	18	かすみがうら市	1,959
9	龍ヶ崎市	3,621	19	境町	1,902
10	神栖市	3,454	20	稲敷市	1,868

注1) 日立市は21位 1,841人

<県女性活躍・県民協働課調べ>

(3) 茨城県及び県内市町村の姉妹都市提携状況

(令和8(2026)年3月31日現在)

市町村名	姉妹都市等提携都市	提携年月日
茨城県	エミリア・ロマーニャ州 (イタリア)	昭和61(1986)年4月17日
	エソンヌ県 (フランス・イル・ド・フランス州)	昭和61(1986)年4月22日
水戸市	アナハイム (米国・カリフォルニア州)	昭和51(1976)年12月21日
	重慶市 (中国・四川省) ※友好交流都市	平成12(2000)年6月6日
	台南市 (台湾)	令和6(2024)年11月22日
日立市	バーミングハム市 (米国・アラバマ州)	昭和57(1982)年4月23日
	タウランガ市 (ニュージーランド)	昭和63(1988)年4月18日
土浦市	パロアルト市 (米国・カリフォルニア州)	平成21(2009)年4月7日
	台南市 (台湾)	令和5(2023)年4月7日
古河市	三河市 (中国・河北省) ※友好交流都市	平成11(1999)年11月6日
結城市	メッヘレン (ベルギー・アントワープ州)	平成8(1996)年10月31日
	メーサイ市 (タイ)	平成24(2012)年11月19日
常陸太田市	余姚市 (中国・浙江省) ※友好交流都市	平成11(1999)年11月17日
北茨城市	ワイロア地区 (ニュージーランド)	平成11(1999)年5月8日
	バルビゾン市 (フランス・セヌ・エ・マルヌ県)	令和6(2024)年9月23日
取手市	ユーバ市 (米国・カリフォルニア州)	平成1(1989)年11月28日
	桂林市 (中国・広西壮族自治区) ※友好交流都市	平成2(1990)年5月7日
牛久市	ホワイトホース (カナダ・ユーコン準州)	昭和60(1985)年4月19日
	オレンジ (オーストラリア・ニューサウスウェールズ州)	平成2(1990)年7月28日
	グレーヴェ・イン・キアンティ市 (イタリア・トスカーナ州フィレンツェ県)	平成25(2013)年12月16日
つくば市	ケンブリッジ (米国・マサチューセッツ州)	昭和59(1984)年5月8日
	アーバイン (米国・カリフォルニア州)	平成1(1989)年8月3日
	深圳市 (中国・広東省) ※友好交流都市	平成16(2004)年6月9日
	グルノーブル市 (フランス・オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州イゼール県)	平成25(2013)年11月12日
鹿嶋市	塩城市 (中国・江蘇省) ※友好交流都市	平成14(2002)年11月8日
	西帰浦市 (韓国・済州道)	平成15(2003)年11月26日
守谷市	マインブルク (ドイツ・バイエルン州)	平成2(1990)年11月3日
	グリーンリー (米国・コロラド州)	平成5(1993)年8月3日
那珂市	オークリッジ (米国・テネシー州)	平成2(1990)年10月29日
	台南市 (台湾)	令和6(2024)年5月6日
坂東市	パインブラフ (米国・アーカンソー州)	昭和61(1986)年11月9日
	タリ市 (パプアニューギニア・ヘラ州)	平成16(2014)年7月10日
稲敷市	サーモンアーム市 (カナダ・ブリティッシュコロンビア州)	平成18(2006)年3月27日
神栖市	ユーリカ市 (米国・カリフォルニア州)	平成3(1991)年11月17日
	上虞市 (中国・浙江省) ※友好交流都市	平成21(2009)年2月16日
小美玉市	アビリン (米国・カンザス州)	昭和59(1984)年10月3日
	淡水区 (台湾・新北市)	令和6(2024)年10月18日
大洗町	オトフォツク市 (ポーランド・マゾヴィエツキ県)	令和1(2019)年5月22日
東海村	アイダホ・フォールズ (米国・アイダホ州)	昭和56(1981)年7月3日
美浦村	桂林市臨桂県 (中国・広西壮族自治区) ※友好交流都市	平成20(2008)年8月5日
阿見町	スーペリア (米国・ウィスコンシン州)	平成7(1997)年4月11日
	柳州市 (中国・広西チワン族自治区)	令和3(2021)年6月1日
境町	マリキナ市 (フィリピン・マニラ都市圏)	平成29(2017)年5月17日
	ホノルル市 (米国・ハワイ州)	平成30(2018)年9月25日
	モンペリエ市 (フランス・オクシタニー地域圏エロー県)	令和5(2023)年9月28日
桜川市	シリストラ市 (ブルガリア・シリストラ州)	平成28(2016)年9月14日
	バコール市 (フィリピン・カヴィデ州)	平成30(2018)年5月23日
八千代町	ラックズオン県 (ベトナム・ラムドン省)	令和4(2022)年10月26日
笠間市	ラール市 (ドイツ)	平成30(2018)年5月13日
行方市	ダナオ市 (フィリピン・セブ州)	令和7(2025)年2月7日
つくばみらい市	松園市 (台湾)	令和6(2024)年4月15日
	カルカル市 (フィリピン・セブ州)	令和5(2023)年1月9日

【合計】 1 県 27 市町村 【提携都市】 52 都市 (米国 14、中国 9、台湾 4 ほか)

< (一財) 自治体国際化協会調べ >

(4) 日立市の国際交流のあゆみ（年表）

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1973 (S48)			日立国際友好協会(HIFA)発足
1974 (S49)			ドイツ(旧西ドイツ)少年少女合唱団、デンマーク体操親善訪問団が来市 HIFA が小・中学校の児童生徒との交流を企画
1975 (S50)			日立市紹介パンフレット(英文)を作成
1979 (S54)			市制 40 周年を記念し、海外都市との姉妹都市提携について検討開始
1980 (S55)	(4月)バーミングハム市から、姉妹都市提携の希望が寄せられる。		
1981 (S56)			(10月)バーミングハム市との姉妹都市提携推進を目的に、姉妹都市提携協議会が発足 (10月)HIFA がフィリピンへ親善訪問団を派遣、バスケットボールや衣類を贈る。
1982 (S57)	(4月23日)姉妹都市提携調印式出席のため、立花市長(当時)一行がバーミングハム市を訪問		(1月)姉妹都市提携協議会を発展させ、日立姉妹都市協議会が発足
1983 (S58)	(4月)バーミングハム市リチャード・アーリントン市長(当時)一行 15 人が来市 学校訪問、企業見学等を通じて交流を深める。 (8月)バーミングハム市からバルカン像と石灯ろうの交換について提案が寄せられる。		
1984 (S59)	(8月)バーミングハム市から、最初の英語指導助手(AET)を任用 (12月)茨城大学とアラバマ大学バーミングハム校(UAB)が大学間協定を締結		
1985 (S60)	(7月)国際青年年に伴い、バーミングハム市青少年一行が来市 (7月)日立市からバーミングハム市に石灯ろうを贈る。 (9月)バーミングハム市からバルカン像が贈られる。 (10月)バルカン像贈呈式出席のため、バーミングハム市議会議長一行が来市	(11月)タウランガ市ノエル・ポーブ市長(当時)夫妻が来市し、姉妹都市提携の希望を寄せる。	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1985 (S60)	(11月)石灯ろう贈呈式出席のため、市民訪問団15人がバーミングハム市を訪問		
1986 (S61)	(8月)第1回姉妹都市交歓研修生として、中学生7人がバーミングハム市を訪問 (8月)アラバマ大学演劇グループが来市 市民会館等で公演を行う。	(6月)市民みこし訪問団151人がNZ ジャパンウィークに参加したほか、タウランガ市を訪問	
1987 (S62)	(8月)第2回姉妹都市交歓研修生7人がバーミングハム市を訪問	(8月)タウランガ市男子高校(タウランガ・ボーイズ・カレッジ(TBC))生徒20人が来市 (12月)タウランガ市との姉妹都市提携について市議会で議決	(7月)日立アメリカ社(日立製作所の米国現地法人)の後援により、米国人教師4人が来市(日米欧教諭交流プログラム(HISTEP))
1988 (S63)		(3月)ボーイスカウト日立第5団の青少年がタウランガ市を訪問 (3月)第3回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問 (4月18日)姉妹都市提携 (4月)調印式出席のため、ポーブ市長(当時)ほか、タウランガ市民58人が来市 併せてNZ物産展を開催 (4月)タウランガ市から最初のAETを任用 (10月)第1回日立市民親善訪問団一行40人がタウランガ市を訪問	(4月)市に国際交流室(担当)を設置
1989 (H1)	(3月)第4回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問 (8月)市制50周年を記念し、バーミングハム市青少年一行17人が来市 (9月)市制50周年を記念し、バーミングハム市から絵画が寄せられ、市展において展示	(8月)市制50周年を記念し、タウランガ市から青少年一行17人が来市 (9月)市制50周年を記念し、タウランガ市から写真が寄せられ、市展において展示	(3月)日立アメリカ社の後援により、市内中学教師を米国に派遣(HISTEP)(~H20) (5月)日立姉妹都市協議会を発展させ、日立国際交流協議会が発足
1990 (H2)	(1月)市内の造園業者が「緑の使節団」としてバーミングハム市を訪問 桜の記念植樹やホームビジット等を通じて交流を深める。 (10月)市民訪問団26人(公募)が「フレンドシップツアー」としてバーミングハム市を訪問	(3月)日立南ロータリークラブとタウランガ南ロータリークラブが姉妹クラブを提携 (4月)タウランガ市キース・クラーク市長(当時)夫妻一行来市 (7月)第5回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問 (10月)NZ建国150周年を記念して開催されたNZ姉妹都市サミット(オークランド市・タウランガ市)に、市長代理として水庭収入役(当時)が参加	(7月)在住外国人向け生活ガイドブック「Living guide in Hitachi」を発行 (7月)英文月間イベント情報誌HYOTANを発行(~H18)

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1991 (H3)	(7月)第6回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問	(2月)日高小学校と成沢小学校でタウランガ市小学生の絵画を展示	(7月)HIFAと日立青年会議所の共同編集により、英文の市街地図「Making moves in Hitachi」を発行
	(10月)アラバマ大学バーミングハム校代表者が来市	(8月)TBC生徒16人が来市 タウランガ市の教育事情を聞く集いを開催	(10月)カリフォルニア州との同時開催による「クリスト・アンブレラ展」を実施
		(8月)ボーイスカウト日立第1団がタウランガボーイスカウト第1団と姉妹団提携	市職員6人を海外研修に派遣(以降毎年)
1992 (H4)	(3月)バーミングハム市から中学生親善姉妹都市研修団28人が来市	(7月)第7回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問	(2月)姉妹都市紹介パンフレットを発行
	(5月)バーミングハム市在住の元米国海軍指揮者が来市し、日立市民吹奏楽団で客演		
	(7月)姉妹都市提携10周年を記念し、青少年親善大使16人がバーミングハム市を訪問	(10月)第2回日立市民親善訪問団34人がタウランガ市を訪問	
1993 (H5)	(2月)日立市民まちづくり視察団16人がバーミングハム市を訪問	(8月)TBC生徒17人が来市	(2月)市職員97人と外国人留学生との意見交換会や異文化理解研修会を開催
	(4月)バーミングハム市市民訪問団16人が来市		(3月)外国人向け生活情報ガイドブック「Living guide for Hitachi」(英語併記)発行
	(4月)バーミングハム広域圏開発局長一行6人が来市 両市の経済状況懇談のため、日立商工会議所を訪問	(9月)姉妹都市提携5周年を記念し、クラーク市長(当時)及び市民訪問団34人が来市。シビックセンターでマオリグループによるコンサートを開催	(4月)単身の男子留学生ための滞在施設「おおせ国際寮」を開設
	(8月)第8回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問		(9月)HIFAが外国人向けの情報提供のため、「インフォメーション・デスク」を開設
1994 (H6)	(6月)バーミングハム市青少年親善大使20人が来市	(7月)第9回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問	
	(12月)(財)日立市科学文化情報財団主催のひたちパソコン画伯コンテストに、バーミングハム市民の作品が応募される。(～H16)	(9月)マウント・マンガヌイ高校生14人が来市	
		(10月)日立市女声合唱団がタウランガ市を訪問し、コンサートを開催	
		(12月)タウランガ男子高校ラグビーチーム33人が来市	
1995 (H7)	(8月)第10回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問	(8月)TBC生徒17人が来市	(3月)日立市の市民みこしが、ハワイの「第1回ホノルルフェスティバル」に参加
			(4月)市内の国際交流ボランティアグループの編集により「Bilingual Guidebook for Hitachi-日英語による日立ガイドブック」を発行

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
1995 (H7)			(10月)グラスネット(草の根国際交流全国ネットワーク)フォーラム全国大会が日立市で開催
1996 (H8)	(3月)アラバマ大学バーミングハム校(UAB)の副学長と国際センター長が来市し、講演会を行う。	(1月)日立商工会議所の経済視察団18人がタウランガ市を訪問	
	(5月)バーミングハム市青少年親善大使31人が来市	(2月)タウランガ市から経済視察団4人が来市	
	(6月)日立第二高等学校にバーミングハム市から2人が留学	(7月)第11回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問	
	(10月)飯山市長(当時)と市民訪問団21人がバーミングハム市を訪問	(9月)ポープ市長(当時)を団長とする市民訪問団6人が来市	
1997 (H9)	(7月)姉妹都市提携15周年を記念し、バーミングハム市市民訪問団11人が来市	(4月)日立商工会議所がタウランガ市英語学校長及び理事と懇談	(5月)NZ全権特命大使が来市し、飯山市長(当時)を表敬訪問姉妹都市交流等についての意見交換を実施
	(7月)第12回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問		(6月)韓国の地方自治体行政視察団21人が来市
	(10月)行政視察のため、市職員2人をバーミングハム市へ派遣	(7月)TBC生徒21人が来市	(7月)オーストリア・ヴィーゼルブルグ市の音楽学校生徒が来市し、コンサートを開催 (10月)フルブライトメモリアル基金教員プログラムとして、米国教師20人が来市
1998 (H10)	(3月)バーミングハムの鈴木メソッド・バイオリングループ38人が来市し、コンサートを開催	(1月)タウランガ市男子高校生1人が、多賀高校に長期(1年)留学	(4月)日立市教育プラザ内に「国際交流サロン」を開設
	(5月)リチャード・アーリントン市長(当時)を団長に、バーミングハム市市民訪問団4人が来市	(5月)姉妹都市提携10周年を記念し、第3回日立市民親善訪問団50人がタウランガ市を訪問	
	(5月)バーミングハム市青少年親善大使25人が来市	(7月)第13回姉妹都市交歓研修生14人がタウランガ市を訪問	
	(7月)バーミングハム市の中学生1人が来市し、市民宅にホームステイ	(8月)タウランガ市民2人が市内視察のため来市	
	(8月)米国アラバマ・バレエ団芸術監督が来市	(11月)日立市産業祭でタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
1999 (H11)	(7月)バーミングハム市市民訪問団8人が来市	(4月)タウランガ市男子高校生1人が、多賀高校に長期(8ヶ月)留学	(6月)中国の新聞社一行が来市
	(7月)第14回姉妹都市交歓研修生14人がバーミングハム市を訪問		(7月)スペイン・リリア氏の音楽グループ118人が来市し、市内の音楽グループとジョイント・コンサートを開催 (8月)日独スポーツ少年団同時交流で、ドイツの青少年グループ12人が来市

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウランガ市	
2000 (H12)	(5月)バーミンガム市青少年親善大使 23 人が来市	(7月)TBC 生徒 13 人が来市 (7月)第 15 回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問	
2001 (H13)	(5月)バーミンガム市青少年ジャズグループ 21 人が来市し、演奏会を開催 (8月)第 16 回姉妹都市交歓研修生 14 人がバーミンガム市を訪問	(4月)ポーブ市長一行 7 人が来市し、さくらまつりを見学 (7月)タウランガ市ガールガイド 6 人が、ガールスカウト日立クラブの招待で来市 (7月)日立市の三味線奏者(高校生)が、ポーブ市長の招待で 1 ヶ月間タウランガ市に滞在し、演奏会を開催 (12月)タウランガ市のピアニストが、約 1 ヶ月半にわたり来市し、記念コンサートを開催	(3月)市勢ガイドブック「Welcome to Hitachi」(日本語・英語併記)を改定
2002 (H14)	(7月)姉妹都市提携 20 周年を記念して、樫村市長(当時)と市民訪問団 23 人がバーミンガム市を訪問 (10月)バーミンガム市のジャズ演奏者 21 人が来市し、コンサートを開催 (11月)日立市産業祭でバーミンガム市のキルトを展示販売	(6月)タウランガ市の青少年奉仕グループ 16 人が来市 (7月)第 17 回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問 (11月)日立市産業祭でタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
2003 (H15)	(3月)バーミンガム市の宇宙飛行士が来市し、第 11 回国際シンポジウムへの出演や駒王中学校での講演を行う (7月)バーミンガム市姉妹都市日本委員会のメンバー 1 人が来市 (7月)バーミンガム市で「日立キルト展」が開催 日立市のキルト愛好家の作品 14 点が紹介される。	(3月)ガールスカウト日立クラブ団員 10 人がタウランガ市を訪問 (5月)タウランガ市のピアニストと彫刻家が来市し、日立交響楽団との合同コンサートや彫刻展を開催 (8月)KIWI-HITACHI CLUB のメンバー 6 人がタウランガ市を訪問 (10月)タウランガ市写真協会メンバーが来市し、シビックセンター及び市内百貨店において写真展を開催	
2004 (H16)	(10月)バーミンガム市のキルト作家をはじめとするアーティスト 12 人が来市 (10月)第 1 回フレンドシップ・キルト展開催 日立市民とバーミンガム市民の作品展示、フレンドシップ・キルトの交換を行う。	(2月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問 (7月)TBC 生徒 15 人が来市 (7月)第 19 回姉妹都市交歓研修生 14 人がタウランガ市を訪問 (10月)KIWI-HITACHI CLUB のメンバーがタウランガ市を訪問し、ガーデンフェスティバルに参加	
2005 (H17)	(8月)第 20 回姉妹都市交歓研修生 15 人がバーミンガム市を訪問	(2月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
2005 (H17)	(10月)第13回世界地方都市十字路会議に伴い、バーミングハム市からパネリスト1人が来市	(4月)タウランガ市長一行11人が来市し、さくらまつり、日立さくらロードレース参加のほか、第1回日立市・タウランガ市姉妹都市会議、記念植樹等を行う。 (4月)タウランガ・ガールガイド一行10人が来市	
	(11月)第2回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品9点を展示	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
2006 (H18)	(4月)バーミングハム・インターナショナル・フェスティバル参加のため、市民訪問団41人がバーミングハム市を訪問し、日立風流物からくり人形や能楽を披露	(2月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問 (6月)国際親善姉妹都市実務研修派遣として、市職員1人をタウランガ市に9ヶ月派遣。タウランガ市役所市民サービス課において実務研修を実施	(8月)第25回日中学生会議第10回日本大会が日立市で開催され、中国各地の留学生31人が来市
	(6月)バーミングハム市青少年訪問団14人が来市	(7月)TBC生徒13人が来市 (7月)第21回姉妹都市交歓研修生15人がタウランガ市を訪問	(9月)日立市の観光ガイドマップを英語・中国語・韓国語版で作成
	(9月)第3回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品9点を展示	(8月)日立第二高等学校生徒19人がタウランガ・ガールズ・カレッジ(TGC)との交流のため、タウランガ市を訪問 (11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	(12月)韓国江原道行政視察団9人が来市し、日立地区産業支援センター等の視察を行う。
2007 (H19)	(6月)かみね動物園開園50周年記念式典への出席及び動物交換事業の協議を行うため、バーミングハム市動物園代表者1人が来市	(1月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問	(2月)奥日立きららの里にモンゴル国オブス県の有志の協力により、ゲル(遊牧民が利用する伝統的な住居)を設置し、「モンゴルの丘」を開設
2007 (H19)	(8月)第22回姉妹都市交歓研修生15人がバーミングハム市を訪問	(2月)茨城キリスト教大学生9人が、海外提携大学であるNZワイカト大学で語学研修を実施するにあたり、タウランガ市でホームステイプログラムを実施 (3月)ガールスカウト日立クラブ団員10人が、タウランガ・ガールガイドとの交流のためタウランガ市を訪問	(8月)姉妹都市の概要・交流のあゆみ等の紹介パンフレット「Our Sister Cities」を発行
	(9月)第4回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品6点を展示	(9月)タウランガ市ベツレヘムカレッジ生徒17人が来市 (11月)姉妹都市提携20周年を迎えるにあたり、樫村市長を団長とするタウランガ市親善訪問団35人を派遣し、第2回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で幅広い分野における長期的な交流事業についての具体的な協議、主要施設調査等を実施	(10月)在住外国人向け生活・健康無料相談会を実施(以降毎年)

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
2007 (H19)		(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置	
2008 (H20)	(3月)バーミングハム市動物園で開催される「全米動物園協会地区会議」に出席するため、市職員2人をバーミングハム市に派遣	(2月)日立工業専修学校生徒がタウランガ市を訪問	(4月)多賀消防署において、外国人研修生26人を対象に、年3回防火・安全対策講話を実施
		(2月)茨城キリスト教大学生9人が、NZワイカト大学で語学研修を実施するにあたり、タウランガ市でホームステイプログラムを実施	
	(4月)姉妹都市提携20周年を記念してタウランガ市スチュアート・クロスビー市長一行が来市。20周年記念セレモニー(新協定書調印式)や第3回日立市・タウランガ市姉妹都市会議、さくらまつり見学、市内視察等を実施		
(6月)バーミングハム市青少年訪問団8人が来市	(7月)中学生海外短期留学支援事業として、中学生11人がタウランガ市を訪問	(10月)かみね動物園飼育員研修として、米国に飼育員1人を派遣	
	(8月)第23回姉妹都市交歓研修生15人がタウランガ市を訪問		
	(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置		
2009 (H21)	(2月)第5回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品8点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒100人がタウランガ市を訪問	(2月)市HPをリニューアルし、掲載情報を英語・中国語・韓国語に翻訳できる機能を設置
2009 (H21)	(6月)バーミングハム市少年合唱団一行55人が来市し、フレンドシップ・コンサートの開催したほか、大久保小学校訪問、市内視察等を実施	(2月)茨城キリスト教大学生4人が、海外提携大学であるNZワイカト大学(タウランガ市)で語学研修を実施	(4月)消防本部において、外国人研修生81人を対象に、防火・安全対策講話を年4回実施
		(4月)タウランガ市ガールガイド一行11人が、ガールスカウト日立クラブの招待で来市	
2009 (H21)		(7月)タウランガ市経済団体職員1人が来市し、樫村市長(当時)表敬訪問及び日立商工会議所訪問、「ひたち環境都市フェスタ2009」の視察等を実施	(5月)自治体職員協力交流事業として、中国から自治体職員1人を6ヶ月間受入れ、上下水道についての技術研修を実施
		(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加	(10月)医療通訳ボランティア研修会(全3回)を実施
2010 (H22)	(2月)第6回フレンドシップ・キルト展開催で、バーミングハム市民の作品13点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒104人がタウランガ市を訪問	(6月)消防本部において、外国人研修生34人を対象に、防火・安全対策講話を実施
	(6月)バーミングハム市青少年訪問団11人が来市	(2月)茨城キリスト教大学生6人が、NZワイカト大学(タウランガ市)で語学研修を実施	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウランガ市	
2010 (H22)	(7月)未来の科学者海外派遣事業として、中学生15人がバーミンガム市ほか2都市を訪問	(7月)中学生海外短期留学支援事業として、中学生12人がタウランガ市を訪問 (11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者1人が参加	
2011 (H23)	(2月)第7回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品8点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒107人がタウランガ市を訪問	(1月)通訳ボランティア養成講座(全3回)を開催
	(6月)バーミンガム市の子どもたちから東日本大震災復興応援メッセージ・絵画等約700点が届く。	(8月)日立第二高等学校生13人が、NZ短期留学として、タウランガ・ガールズ・カレッジでの授業参加、ホームステイ等を実施	
	(8月)バーミンガム市から東日本大震災復興応援寄付金として30,000米ドル(2,312,700円)が贈られる。	(8月)タウランガ市から東日本大震災復興応援寄付金として5,000NZドル(318,750円)が贈られる。	
	(9月)日立市の子どもたちからバーミンガム市へ、東日本大震災時の支援に対するお礼のメッセージ約700点を送付	(11月)タウランガ市経済団体職員6人が来市し、吉成市長表敬訪問及び市内視察等を実施	(6月)日立国際交流協議会ツイッターでの国際交流関係の情報提供を開始
	(11月)バーミンガム市ロータリークラブから復興応援寄付金として5,000米ドル(385,750円)が贈られる。	(11月)日本・NZ経済人会議に市職員2人が参加	
		(11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加	
2012 (H24)	(2月)第8回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品5点を展示	(2月)第8回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品2点を展示	(9月)外国人17人参加のもと、防災訓練を実施
	(3月)東日本大震災時の支援に対するお礼として、第8回フレンドシップ・キルト展で市民参加のもと作成したキルト作品をバーミンガム市に送付	(2月)日立工業専修学校生徒90人がタウランガ市を訪問	
	(5月)姉妹都市提携30周年記念写真展を開催	(3月)東日本大震災時の支援に対するお礼として、第8回フレンドシップ・キルト展で市民参加のもと作成したキルト作品をタウランガ市に送付	
	(6月)UAB学生一行12人が来市	(3月)ガールスカウト日立市国際交流委員会メンバー8人がタウランガ市を訪問し、姉妹都市交流キャンプ等を実施	
		(10月)吉成市長を団長とするタウランガ市親善訪問団11人を派遣し、第4回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で、今後の交流についての事務レベルでの協議を実施	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
2012 (H24)	(6月)姉妹都市提携30周年記念フレンドシップイベントの開催	(10月)TGC 校長夫妻来市 (11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加	
	(9月)バーミングハム市ウィリアム・ベル市長が来市 市防災担当者や教育担当者との懇談を行う。		
	(11月)姉妹都市提携30周年記念写真展を開催		
2013 (H25)	(2月)第9回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品5点を展示	(2月)第9回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品6点を展示	(8月)日独スポーツ少年団同時交流で、ドイツの青少年グループ11人が来市
	(4月)吉成市長及び市内医療関係者等5人がバーミングハム市を訪問	(2月)日立工業専修学校生徒87人がタウランガ市を訪問 (4月)タウランガ・インターミディエイト・スクール学部長等3人来市	
	(8月)UAB 講師1人が来市し、茨城キリスト教大学でイングリッシュキャンプを実施	(4月)タウランガ市ガールガイド一行10人が、ガールスカウト日立クラブの招待で来市 (11月)日立市産業祭で日立商工会議所がタウランガ市の物産等の紹介コーナーを設置したほか、タウランガ市地元企業関係者2人が参加	(10月)日立港とメルセデス・ベンツのドイツ本社関連により吉成市長一行11人がドイツを訪問
2014 (H26)	(2月)第10回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品6点を展示	(2月)第10回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品5点を展示	
	(5月)バーミングハム市学校関係者1人が来市	(2月)日立工業専修学校生徒94人がタウランガ市を訪問	
	(5月)UAB 学生一行12人が来市	(4月)タウランガ市スチュアート・クロスビー市長一行が来市	
	(7月)日立北高等学校生徒13人がバーミングハム市を訪問	第5回日立市・タウランガ市姉妹都市会議やさくらまつり見学、市内視察等を実施	
	(8月)東日本大震災時の応援メッセージ等に対する謝意を伝えるため、中学生15人がバーミングハム市を訪問	(10月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品20点を展示	
(9月)バーミングハム市民訪問団5人が来市			
2015 (H27)	(3月)第11回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品6点を展示	(3月)第11回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品8点を展示	
	(6月)バーミングハム市キルトショーで、日立市のキルト愛好家の作品18点が紹介	(3月)ガールスカウト日立市国際交流委員会メンバー10人がタウランガ市を訪問し、姉妹都市交流キャンプ等を実施	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミングハム市	タウランガ市	
2015 (H27)	(7月)日立北高等学校生徒 13 人がバーミングハム市を訪問	(9月)タウランガ市経済担当者 2 人来市 (11月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品 31 点を展示	
	(12月)アラバマ日米協会が開催したイベントで、日立市のキルト愛好家の作品 6 点が紹介	(11月)ひたち生き生き百年塾が、まちへのラブレター国際絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品を展示	
2016 (H28)	(2月)マーク・ジャクソンバーミングハム市姉妹都市委員会委員長が来市	(5月)タウランガ市特別支援教育関係者 6 人が来市	(8月)外国人 5 人参加のもと、茨城県・高萩市総合防災訓練へ参加
	(2月)第 12 回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品 6 点を展示		
	(5月)バーミングハム市青少年一行 15 人が来市		
	(7月)日立北高等学校生徒 9 人がバーミングハム市を訪問	(9月)タウランガ市青少年一行 7 人が来市	(11月)外国人 3 人参加のもと、日立市と日立国際交流協議会共催の防災訓練に参加
	(9月)マーク・ジャクソンバーミングハム市姉妹都市委員会委員長ほか 1 人が来市		
	(10月)副市長を代表とした産業交流ミッション団 10 人を派遣		
	(11月)日立総合病院から U A B 附属病院に医師 2 人を派遣		
(12月)バーミングハム市大学生グループ 6 人が来市	(11月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品 30 点を展示		
2017 (H29)	(2月)第 13 回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品 6 点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒 90 人がタウランガ市を訪問	
	(5月)元バーミングハム市姉妹都市委員会委員長を含む、バーミングハム市民訪問団 5 人が来市	(9月)タウランガ市青少年グループ 9 人が来市	
		(10月)小川市長を団長とするタウランガ市親善訪問団 13 人を派遣し、第 6 回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で、今後の交流についての協議を行ったほか、協議確認書の署名を行う。	
	(7月)日立北高等学校生徒 13 人がバーミングハム市を訪問	(11月)日立ユネスコ協会が、私の町のたからもの絵画展で、タウランガ市の子どもたちの作品 22 点を展示	

2018 (H30)	(1月)副市長を代表とした産業交流団 11 人を派遣	(2月)第 14 回フレンドシップ・キルト展で、タウンガ市民の作品 8 点を展示	(3月)外国人 12 人参加のもと、防災訓練を実施
	(2月)第 14 回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品 11 点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒 93 人がタウンガ市を訪問	
	(5月)元バーミングハム市姉妹都市委員会委員長を含む、バーミングハム市民 2 人が来市	(8月)日立電鉄交通サービス(株)が主催する「第 1 回日立市中学生海外ホームステイ体験」に、市内中学生 8 人が参加	
	(5月)バーミングハム市青少年一行 10 人が来市	(9月)タウンガ市経済関係者が来市	
	(7月)日立北高等学校生徒 10 人がバーミングハム市を訪問	(9月)タウンガ市青少年一行 5 人が来市	
	(9月)バーミングハム市バルカン公園運営関係者等 2 人が来市	(9月)タウンガ市姉妹都市提携 30 周年記念「姉妹都市交流写真パネル展」を開催	
	(10月)日立市とバーミングハム市との産業コーディネーターである、カオリ・シェラー氏をはじめ、アラバマ日米協会役員等 5 人が来市	(10月)タウンガ市姉妹都市交流関係者が来市	
	(10月)前バーミングハム市姉妹都市委員会委員長をはじめ、バーミングハム市経済関係者等 4 人が来市		
2019 (H31、R1)	(2月)UAB職員を含むバーミングハム市民 2 人が来市	(2月)日立工業専修学校生徒 93 人がタウンガ市を訪問	(7月)サッカーを通じた国際交流を目的に、中国・北京市の中関村小学校グループ 37 人が来市
	(2月)第 15 回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品 7 点を展示	(2月)第 15 回フレンドシップ・キルト展で、タウンガ市民の作品 7 点を展示	(11月)県内の視察のため、中国・重慶市の重慶精英人士訪問団 32 人が来市
	(5月)元バーミングハム市姉妹都市委員会委員長を含む、バーミングハム市民 2 人が来市	(3月)ガールスカウト日立市国際交流委員会メンバー 8 人がタウンガ市を訪問し、姉妹都市交流キャンプ等を実施	
	(6月)タウンガ市教育関係者 3 人が来市	(8月)茨城交通(株)が主催する「第 2 回日立市中学生海外ホームスイ体験」に、市内中学生 5 人が参加	(11月)市内の視察のため、中国・四川省の四川師範大学附属実験学校の教員グループ 13 人が来市
2020 (R2)	(2月)第 16 回フレンドシップ・キルト展で、バーミングハム市民の作品 5 点を展示	(2月)日立工業専修学校生徒 78 人がタウンガ市を訪問	
	(6月)新型コロナウイルス感染拡大防止に役立ててもらうため、バーミングハム市及びタウンガ市にマスク各 2 万枚を送付	(2月)第 16 回フレンドシップ・キルト展で、タウンガ市民の作品 5 点を展示	
2021 (R3)		(2月)第 17 回フレンドシップ・キルト展で、タウンガ市民の作品 7 点を展示	

年	国際親善姉妹都市との交流		その他
	バーミンガム市	タウランガ市	
2021 (R3)	(4月)「国際親善姉妹都市ウィーク」写真パネル展にて、マスクを送付した際に送られた各市長からのメッセージを展示		
2022 (R4)	(8月)「日立市・バーミンガム市姉妹都市提携40周年記念デジタル写真展」を実施	(9月)タウランガ市姉妹都市交流関係者2人が来市	
	(10月)姉妹都市提携40周年を記念したバーミンガム市長からのメッセージを市報へ掲載		
2023 (R5)	(2月)第18回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品6点を展示	(2月)第18回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品6点を展示	
		(8月)茨城交通(株)が主催する「第6回日立市中学生海外ホームステイ体験」に、市内中学生6人が参加	
		(9月)タウランガ市青少年グループ24人が来市	
		(11月)「日立市・タウランガ市姉妹都市提携35周年記念デジタル写真展」を実施	
2024 (R6)	(10月)バーミンガム市青少年グループ18人が来市	(4月)タウランガ市アン・トーリー市長代行一行が来市 第7回日立市・タウランガ市姉妹都市会議において、今後の交流について協議し、確認書へ署名した。	(11月)市内の視察のため、ヨルダン政府職員及びヨルダン・アンマン州職員等14人が来市
		(7月)日立北高等学校生徒16人がタウランガ市を訪問	
	(2月)第20回フレンドシップ・キルト展で、バーミンガム市民の作品10点を展示	(10月)タウランガ市青少年グループ9人が来市	
		(2月)第20回フレンドシップ・キルト展で、タウランガ市民の作品4点を展示	
2025 (R7)	(3月)バーミンガム市訪問団2人が来市	(4月)ガールスカウト日立市国際交流委員会が主催する「ガールスカウト日立市姉妹都市交流2025」に、タウランガ市ガールガイド10人が来市	
		(5月)タウランガ市青少年1人が来市	
		(8月)茨城交通(株)が主催する「第8回日立市中学生海外ホームステイ体験」に、市内中学生6人が参加	

【参考（定期的に実施している姉妹都市関係事業）】

- * ニュージーランド研修(日立工業専修学校):平成 15 (2003) 年度～25 (2013) 年度 (毎年)、平成 28 (2016) 年度～ (隔年)
- * フレンドシップ・キルト展:平成 16 (2004) 年度～令和 6 (2024) 年度 (毎年)
(令和 2 (2021) 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止)
- * 日立市産業祭での姉妹都市コーナー設置:平成 17 (2005) 年度～ (隔年)
- * バーミンガム市青少年訪問団一行来市:平成 18 (2006) 年度～ (隔年)
- * 日立市・タウランガ市市長訪問団の相互訪問:平成 20 (2008) 年度～ (3年に1回)
第3回日立市・タウランガ市姉妹都市会議で決定 (平成 23 (2011) 年度は東日本大震災の影響により中止。
平成 24 (2012) 年度に実施)
- * 中学生海外短期留学支援事業:平成 20 (2008) 年度～26 (2014) 年度 (毎年)
市内中学生のタウランガ市短期留学を支援 (平成 21 (2009) 年度は新型インフルエンザ流行により中止)
- * 未来の科学者海外派遣事業:平成 21 (2009) 年度～23 (2011) 年度 (毎年)
姉妹都市交歓研修生派遣事業を、科学教育に重点をおいた内容とした事業に変更。(平成 21 (2009) 年度は新型インフルエンザ流行により中止)
- * 姉妹都市交歓研修生派遣事業:昭和 61 (1986) 年度～平成 20 (2008) 年度 (毎年)
市内中学生を国際親善姉妹都市に派遣。第1回目はバーミンガム市、第2回目からバーミンガム市・タウランガ市に交互に派遣 (平成 15 (2003) 年度はSARS・テロ等の国際情勢の不安により中止)
- * タウランガ市男子高校(タウランガ・ボーイズ・カレッジ(TBC))生徒来市:平成 3 (1991) 年度～18 (2006) 年度 (不定期)

令和7（2025）年度わたちの国際交流

- 発行年 令和8（2026）年4月
- 編集・発行 日立市市民生活環境部文化・国際課
- 連絡先 〒317-8601 日立市助川町1-1-1
TEL 0294（22）3111 内線535
IP 電話 050-5528-5062（直通）
FAX 0294（24）5301
E-mail : kokubun@city.hitachi.lg.jp